



在仏日本人会 会報 N°316 2025年 11月・12月号

JOURNAL JAPON

第98回 パリ・ソフトボール大会 (2025年9月7、14、21日)

在仏日本大使杯並びにマイルド・セブン旗争奪戦
(在仏日本人会主催、日本トランスユーロ社協賛)

秋、天高く馬肥ゆ。La Défense の高々と聳えるビル群の背景には雲ひとつない大空が広がっている。初日の9月7日は珍しく快晴である。今まで秋の大会の数多くが悪天候に悩まされてきた。今回は我々の雨への心配は杞憂に終わりそうである。何か心が晴れ晴れとする。参加は6チームとなった。

■初日 9月7日 快晴

- 第一試合 9h00 在仏日本大使館 対 TITANES(ベネズエラ等南米、米国の混合チーム。初参加。人数不足で不戦敗)
第二試合 10h30 在仏日本大使館 対 CHOCOBALL(日本人チーム) 15/15 引き分けに終わる。好試合。
第三試合 12h00 TITANES 対 CHOCOBALL 20/29 熱戦。
第四試合 13h30 LOS TRINITARIOS(ドミニカ) 対 PSCF(フィリピン) 27/5
第五試合 15h00 LOS TRINITARIOS 対 PARIS METS(米加混合) 18/2
第六試合 16h30 PSCF 対 PARIS METS 9/11

■二日目 9月14日 曇天、時々霧雨あり

- 6試合中4試合が人数不足で中止
第二試合 10h30 CHOCOBALL 対 LOS TRINITARIOS 18/12 優勝候補同士の対決。CHOCOBALLが制す。見応え充分。
第三試合 13h30 TITANES 対 PARIS METS 43/11

■三日目 9月21日 曇りのち晴れ 最終日

- 3試合中2試合が中止。原因は人数不足。
第一試合 9h00 TITANES 対 LOS TRINITARIOS 4/28

<決勝リーグ>

- 1位/2位 LOS TRINITARIOS 4勝1敗 対 CHOCOBALL
3勝1引き分け1不戦敗 不戦
3位/4位 PARIS METS 1勝2不戦勝2敗 対 在仏日本大使館
2不戦勝1引き分け2不戦敗 18/12
5位/6位 TITANES 1勝1不戦勝2敗1不戦敗 対 PSCF 2敗3不戦敗 20/10

第98回大会は紆余曲折の末、なんとか終わりましたが、記憶に残ったことなどを記します。

1. 不戦試合が8試合あり、参加を希望する以上、人数不足を解消して欲しい。
2. 在仏日本大使館チームがCHOCOBALL と引き分けたことは注目される。
3. 新規にTITANESチームが加わったこと。LOS TRINITARIOSが復帰したことは喜ばしい。
4. 白石湊士朗君(小学生)が9月7日、14日の両日スコアボードに点数書きを手伝ってくれました。是非来季もお願いします。お父さんも試合で大活躍でした。
5. パリ日本人学校校長の堀内正樹先生がふらりと試合場に来られ、先生チーム、生徒チームの参加の件等でお話を伺うことが出来、大変有益でした。ありがとうございました。

最後になりましたが、日本人会事務局長高橋幸隆氏と事務局のアルブイさんのお力添えに感謝いたします。また、写真をご提供いただきました元事務局の日下部さんにお礼を申し上げます。

実行委員 橋本勝義、西畑孝一、野口高大、柿崎直文(文責)



■帰国者向け
引越の流れ、引越免税、ワイン輸送など

引越しセミナー
11/13(木)
10~12時



至れり尽くせりのお引越
日本トランスユーロ
transeuro.jp

☎ 01-4058-1000
✉ sales@transeuro.jp

■着任者向け
経験豊富なスタッフが
身近な生活関連情報をご案内

ZOOM会議・要予約

Welcomeセミナー
11/18(火) 10~12時

国内引越しもお任せください!

フランスで眼鏡やコンタクトレンズを購入する流れ

——— 医療と保険が支える、安心で合理的な仕組み ———

こんにちは。パリ・オペラ通りにあるパリミキで店舗運営を担当している、桑田と申します。

当店はフランスでの創業から半世紀を超え（今年で52年目）長年にわたり日本人をはじめ多くのお客様の視力ケアをお手伝いしてきました。その経験をもとに今回は「フランスで眼鏡やコンタクトレンズを購入する際の流れ」について、現地の制度や補償の仕組みを交えながらわかりやすくご紹介いたします。

日本とフランスでは眼鏡を作るプロセスが大きく異なるため、はじめてこちらで眼鏡を作ろうとすると戸惑う方も少なくありません。しかし実際のところ、フランスの制度は医療的な安全性と経済的な補償の両立を目指した、とてもよくできた仕組みです。それでは、実際の流れを、順を追ってご紹介いたします。

① 眼科医 (Ophtalmologiste) で診察と処方箋の取得

最初のステップは、眼科医での診察です。

フランスでは、眼鏡もコンタクトレンズも医師の処方箋 (ordonnance) なしでは販売できないという決まりがあります。これは単なる視力矯正ではなく、目の健康維持を目的とした医療行為として位置づけられているためです。診察では、視力検査に加えて眼底や眼圧のチェックなどを行い、必要に応じて疾患の兆候も確認します。この段階で、左右の度数や乱視の有無、レンズの種類などが明記された処方箋が発行されます。

処方箋の有効期限

フランスでは、処方箋の有効期間は年齢やレンズの種類によって異なります。このルールは法律で細かく定められており、以下が最新の一般的な基準です。

眼鏡（矯正用レンズ）の処方箋

- 16歳未満：有効期間は 1年
- 16～42歳：有効期間は 5年
- 43歳以上：有効期間は 3年

これらは、医師または処方権のある専門家が発行した処方箋に適用されます。ただし、処方箋に「この処方箋は〇年以内に限る」などの特別な指示がある場合は、その指示が優先されます。

コンタクトレンズの処方箋

- 16歳未満：有効期間は 1年
- 16歳以上：有効期間は 3年（特別な指示がない限り）

ご注意くださいポイント

- 初めて眼鏡やコンタクトを作る16歳未満のお子さんの場合、処方箋の発行日から6か月以内に購入・装着する必要があります。これは、子どもの視力が変化しやすいため、処方箋の内容が古くなる前に初回の眼鏡を作ることを目的としたルールです。もし6か月を過ぎると、再度医師の診察を受けて新しい処方箋をもらう必要があります。
- 眼鏡店による処方箋の微調整も可能で、度数の再調整などを行った場合は、内容を処方箋に記載し医師に通知する義務があります。診察料はおおよそ25～80ユーロ程度で、社会保険が約70%を負担します。残りはmutuelle（相互保険）が補填するため、自己負担は数ユーロ程度に抑えられることが多いです。

② 眼鏡店 (Opticien) での相談と見積もり

処方箋を手にしたら、次は眼鏡店へ向かいます。

顧客の処方箋を確認し、ライフスタイルや職業、使用目的（PCや読書などデスクワーク中心か、車の運転が多いかなど）に合わせて最適なレンズのタイプや加工を提案してくれます。

店頭では次のような流れで進みます：

1. 処方箋の確認と視力の再チェック（必要に応じて）
2. フレーム選び（形・素材・ブランドなど）
3. レンズの選択（単焦点・遠近両用、レンズカラーなど）
4. 見積書 (devis) の発行

この「見積書」は非常に重要な書類で、社会保険やmutuelleへの請求の際に使用されます。価格の内訳が明記されており、購入前に必ず提示される義務があります。

③ 「100% Santé」制度で自己負担ゼロの選択肢も

2019年から導入された「100% Santé」制度により、フランスでは一定条件を満たせば自己負担なしで眼鏡を作ることが可能になりました。これは社会保険とmutuelleの両方に加入している人を対象とした制度です。対象となるのは「Panier A」と呼ばれる商品で、条件は次の通りです。

- フレーム価格は最大30ユーロまで
- 17種類以上のモデルから選択可能
- レンズは単焦点・遠近両用いずれも対象
- 傷防止・反射防止・薄型加工を含む

これらの範囲内の商品を選べば、社会保険とmutuelleが全額負担してくれるため、支払いはゼロです。一方、掛け心地の良い高品質なフレームやデザイン性の高いフレーム、特殊加工のレンズを希望する場合は「Panier B」扱いとなり、差額を自己負担することになります。ただしmutuelleによっては、その差額の一部または全額をカバーしてくれる場合もあります。このように、「必要十分な眼鏡を無料で作る」か、「自分好みの一本に投資する」かを自由に選べるのが、フランスのユニークな点です。

④ 支払いと補償の仕組み

購入時の支払い方法には2通りあります。

1. Tiers payant制度

眼鏡店が社会保険およびmutuelleに直接請求する方式です。この場合、利用者は店頭で支払いをほとんど行わずに、自己負担ゼロもしくはごく少額で眼鏡を受け取れます。

2. 後払い (remboursement) 制度

後払い方式は、利用者がいったん全額を支払い、後日返金を受けるケースです。この場合、社会保険から基本部分が、mutuelleから上乗せ分が払い戻されます。

返金には次の書類が必要です：

- 処方箋 (ordonnance)
- 領収書 (facture)
- 見積書 (devis)

社会保険が負担するのはごく少額ですが、mutuelleの補償内容により最終的な負担額が大きく変わります。

契約プランによっては費用のほとんどが返金されることも珍しくありません。

(次ページにつづく)

PARIS MIKI

「パリで“日本の安心”を、そのままに。
日本人スタッフが丁寧に対応し、保険手続きもサポート。
日本人向けの商品やデザインも豊富にご用意しています。
視力測定・調整も日本語で安心。
Web予約で簡単にご来店いただけます。」



33 Avenue de l'Opéra
Paris 75002
10:00~19:00
月曜日～土曜日
01.42.61.72.48
contact@paris-miki.fr

(前ページよりのつづき)

⑤ コンタクトレンズを購入する場合

コンタクトレンズを購入する場合も、基本的には眼鏡と同様に処方箋が必須です。処方箋の有効期限であれば同じ度数のレンズを再購入可能です。コンタクトレンズに対する社会保険の補償は限定的で、通常はmutuelleが返金の大部分を担います。プランによっては年間100～300ユーロ程度の補償が設定されており、コンタクトレンズを継続的に使う場合には、mutuelleの内容を確認しておくことと安心です。

⑥ アフターサービスと保証制度

フランスの眼鏡店はアフターサービスにも力を入れています。処方箋の有効期限であれば同じ度数のレンズを再購入可能です。購入後のフレーム(掛け心地の調整や型崩れの修正)、ネジの締め直し、鼻あて交換などは多くの店舗で無料です。また、レンズの視界不良やコーティング不具合についても、保証期間内であれば交換対応してもらえます。さらに、眼鏡店による視力チェックを無料で受けられることもあります。

*パリミキでは上記のサービスをすべて対応しております。

最後に

フランスでの眼鏡・コンタクト購入は、単なるショッピングではなく、医療と保障の仕組みが一体化したプロセスです。医師による診察から始まり、専門家であるオプティシャンの提案、社会保険とmutuelleの補償まで、すべてが制度として体系化されています。

「100% Santé」制度の登場により、経済的理由で視力補正具を諦める人が減り、誰もが平等に「見える権利」を享受できる社会が実現しつつあります。医療の信頼性、補償の手厚さ、そして選択の自由。これら三つがバランスよく共存しているのが、フランスの眼鏡・コンタクト文化の特徴といえるでしょう。

眼鏡、コンタクトレンズでお困りのことがございましたら、パリミキオペラ店までお気軽にお問い合わせください。

外務大臣賞 表彰式

この度、全く思いがけなく「(日本の)外務大臣賞」を授与した。夏のある日、日本人の知人2人から「おめでとう」のメールが入った。何事かと外務省のページを開いたら2025年7月29日付けで「令和7年度受賞者」として自分の名前を発見した。ひたすらに記者としての仕事をし、書き続けてきただけなので受賞の資格があるのかと戸惑った。



筆者と下川大使

諸般の事情で10月31日に日本大使公

邸での表彰式の式典が決まった。式典に招待したい人30人のリストを作成した。産経新聞パリ支局長として約20年間、新聞社を退職後もフリーの記者及び作家としてパリで仕事を続けてきたので日仏でお世話になった人たちのリストは長いので、30人に絞るのに苦労した。下川真樹太・在仏大使の非常に心のこもった式典のご挨拶には感謝感激した。ビュッフェの御馳走も食通の仏人が「天下一品」と大絶賛だった。

招待者は仏側がミッテラン政権時代のクリスチャン・ソテール財務相やシラク大統領の外交顧問で仏外務省の元次官モーリス・グルード＝モンターニュ元在仏大使、オリヴィエ・フォル元パリ警視庁長官、テロ専門のジャン＝ルイ・ブリュギエール予審判事、パリ政治学院のモーリス・ヴァイス名誉教授、日本学の碩学ジャン＝ノエル・ロペール教授、紳士靴のブランド、ベルルッティのオルガ・ベルルッティ4代目社主等。日本側は日本人会の片川喜代治会長やパリ笹川日仏財団の富永重厚前理事長、在仏日本商工会議所の山田裕隆事務局長、パリ日仏文化会館の鈴木仁館長等。全員が30年来のお付き合いのある方たちだ。フォルとブリュギエールの両氏は日仏を震撼させた「佐川人肉事件」の捜査で1982年来日した時、在勤の東京で取材して以来の貴重なニュース・ソースだ。

この30年間、「ルモンド」の創始者ウーベルト・ブーブメリーに「良き新聞記者の条件」として留学時代に教わった「好奇心」を座右の銘に励んできた記者生活を振り返る貴重な式典でもあった。



山口 昌子【略歴】仏給費留学生として新聞記者養成所(CFJ)に留学。産経新聞で特報部、外信部次長、パリ支局長(1990年～2011年)を歴任。ボーン上田国際記念記者賞受賞。主要著書「大国フランスの不思議」「ドゴールのいるフランス」「原発大国フランスからの警告」「フランス流テロとの戦い方」「パリの福澤諭吉」「パリ日記」全5巻を刊行。

出版案内

Étude comparative des Onomatopées en langue française et japonaise: 日仏語オノマトペ比較研究 Format Kindle - Amazon.fr

この論文を提出してからなんと25年もたってしまいました。あの時はフランスで、いえ、世界でこれほど漫画ブームになるとは想像もしていませんでした。丁度仕事をフランスの田舎で探していた時に日本語なら教えられのかもしれないと、パリの大学の学士課程に40歳で入学し、45歳の時にトゥールーズでフランス言語学の修士課程に進みました。先生から何度かいただいた言葉が「言語はプラスチック(可塑的)だ」ということに感心し納得したことを覚えています。最初は子供たちに日本語の興味を持ってもらうために買い与えた漫画本、セラムーン、ドラゴンボールなど、ならば擬音語、擬態語も知ってもらいたい、フランス人と日本人とではどのように使われるのか、同じように感じてもらえるのかを自分なりに知りたかったのがきっかけです。当時は資料も殆どなく図書館にあった古いわずかな文献から論文にしたので、25年の歳月の間にオノマトペの本も出版されて変わっていったということは想像できます。言葉は変わって当たり前なのです。新しい言葉は50年後にはどのぐらい残るのか、またどのほどの新しい言葉が生まれてくるかは定かではありません。オノマトペも例外ではありません。寒い国もあれば温かい国もあるようにそれぞれの環境で生まれたオノマトペもあるでしょう。だから面白いのです。今日ではテクノロジーが発達し、人間社会を変えていきます。ネットで世界に一瞬のうちに言葉が広がるかもしれません。「何ごちゃごちゃしゃべっているんだ」「何を言いたいのだ」とイライラされているかもしれません。私はこのオノマトペ用語こそが人間共通の感情を表せるのではないかと今も思っています。そして共通のやさしさや癒しの気持ちにさせてくれる普遍的な言語であると願っています。当時A4の用紙にタイプ打ちし提出した論文は色あせ、汚れ、製本も崩れてしまったので忠実にそのままの文(間違っているフランス語ですが、ご容赦ください)を打ち直しAmazonから出版することにしました。オノマトペを題に普通のフランスでの不満を逸話「オノマトペでフランスを斬る」としてネットに掲載した分も最後のページに追記させていただきました。この本は私の特別な本、私が私に贈る本として勝手ながら出版させていただきます。

また、以前出版しました「Mais qu'est-ce je fais là? なにやってんだろう私」フランス語版ですが出版社側からの勝手な契約無効となりましたが、こちらは2025年8月28日にAmazon.frより再出版しました。よろしくお祈りします。小畑リアンヌ

ディディエ・クラス

シャンソンコンサート

2025年 12月 14日(日) 午後 6 時 ～

場所: Auditorium Saint-Germain

(Métro Mabillon)

♪ディディエ先生のユーモアにあふれた演出や美しいアレンジ、そして終演後のワイン・パーティをお楽しみに🍷

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2025年11月10日～2026年1月20日)

パリ日本文化会館 事業案内

【展示】

高畑勲 今日のアニメーションのパイオニア―戦後からスタジオジブリまで

日時：10月15日（水）～2026年1月24日（土） 会場：2階展示室

参加費：一般7 €/割引5 €

内容：1985年に宮崎駿、鈴木敏夫と共同でスタジオジブリを設立し、半世紀にわたって日本のアニメーション界を牽引し、国際舞台へと躍り出た、日本アニメーションの発展にとって重要なアニメーションの巨匠、高畑勲。『アルプスの少女ハイジ』、『火垂るの墓』、『かぐや姫の物語』などを手掛けた同氏の足跡を、制作ノート、絵コンテ、原画、セル画、映像などによって明らかにします。

バンダイのプラモデルの世界

日時：11月18日（火）～11月15日（土） 会場：地上階ホール 参加費：無料

内容：ガンプラは1980年に誕生し、今年で45周年を迎えるプラモデルの代表的存在。『機動戦士ガンダム』の世界観を立体化し、世代を超えて親しまれています。そのものづくりを支えるのが、“ホビーマチ”静岡にあるバンダイホビーセンター。企画から生産までを一貫して行い、高い品質と技術力を実現しています。本展示では、プラモデルの魅力とその歩みを紹介します。

第13回「伝統と先端と」～日本の地方の底力～

日時：11月18日（火）～11月29日（土） 会場：地上階ホール 参加費：無料

内容：日本の地方の「衣食住」をテーマとした恒例の企画展示第13弾。優美なデザイン、繊細な手仕事、そして完成度の高さが際立つ日本各地の工芸品を通して、日本文化と歴史、そして地方のもつ知られざる魅力を紹介し、あわせて日本の伝統工芸が体験できるワークショップも実施予定。

フロラン・シャヴエのまち歩きアートワークス

日時：2025年12月2日（火）～2026年1月10日（土） 会場：地上階ホール

参加費：無料

内容：フランス人グラフィック・アーティストのフロラン・シャヴエによる約30点のイラストを通じた日本の都市風景をめぐる旅。にぎわいの中にも静けさがあり、思いがけない場所に自然が顔をのぞかせる。そんな日本のまちの魅力が描きだされた軽やかで愉快的グラフィック散歩をお楽しみください。

【公演】

空間現代コンサート

日時：11月13日(木) 20時 会場：小ホール 参加費：一般15€/割引13€/会員10€

内容：2006年に結成されたスリーピースバンド「空間現代」（野口順哉、古谷野慶輔、山田英晶）は、編集・複製・反復・エラー的発想から楽曲を制作。ねじれや負荷、抑制が混ざり合ったストイックでユーモラスなパフォーマンスを展開。

渡辺麻美トリオ Being Guided By The Light

日時：12月9日(火) 19時 会場：小ホール 参加費：一般10€/割引7€/会員5€

内容：福岡出身のピアニスト・作曲家である渡辺麻美子は、伝統的なジャズと内なる音楽探求のはざまで、20年以上にわたり独自の道を築いてきました。彼女の5枚目のアルバム「Being Guided By The Light」（JOJO RECORDS）は、パンデミック中の孤独の中で生まれ、今回のトリオ公演ではこのアルバムのレパートリーを披露します。

【映画】

水曜日の名画座（第二次世界大戦終結80年）

月々一度、日本映画の珠玉の名作を上映する「水曜日の名画座」。第二次世界大戦終結80年の機に戦禍を主題にした作品として、戦争によって運命を翻弄される人々のドラマを描いた『ビルマの竖琴』と『流転の王妃』を上映します。

日時：11月19日（水）、12月17日(水)

会場：小ホール 参加費：一般6€/割引・会員3€

「平成狸合戦ぽんぽこ」

「高畑勲 今日のアニメーションのパイオニア―戦後からスタジオジブリまで」展に合わせて、また、「高畑勲-スタジオジブリの もう一人の巨匠」講演会の後に「平成狸合戦ぽんぽこ」を上映します。

日時：11月22日（土） 16時～ 会場：小ホール 参加費：3€

パンダとタヌキ

「高畑勲 今日のアニメーションのパイオニア―戦後からスタジオジブリまで」展に合わせて、高畑勲監督の映画作品「パンダコパンダ」と「平成狸合戦ぽんぽこ」を学校対象上映会で紹介します。

日時：12月4日（木）、12月5日(金) 会場：小ホール 参加費：登録制・無料

第19回キノタヨ現代日本映画祭

日時：11月21日～12月13日

会場：大ホール 参加費：一般6€/割引・会員3€

【講演会・セミナー・シンポジウム】

講演会～第2回「日本とわたし～好きを仕事にするには？」

日時：11月12日（水）18時～20時 会場：大ホール 参加費：予約制・入場無料

内容：日本語や日本文化を学ぶことで、どのようなキャリアを実現できるだろうか。学生を主な対象とした本イベントの第2回セッションでは、在仏日本企業、稲畑産業、JAL、サントリー、UNIQLOで活躍するフランス人を講師に招き、「日本」と繋がりながら働くとはどういうことか、「学び」や「好き」をどのようにキャリアへ繋げられるか、それぞれの経験を通して、その可能性を探っていきます。

高畑勲と考える、自然と人間

日時：12月6日（土）14時30分～16時 会場：小ホール 参加費：予約制・無料
内容：村松研二郎（ジャン・ムラン・リヨン第3大学准教授）、アントナン・ベシュレール（ストラスブール大学准教授）を講師に迎え、日本の戦後アニメーション界において常に独自の立場を維持し続けた高畑勲の自然の表象や、人間・社会観についての考察をお届けします。

【ワークショップ】

学校対象プラモデルワークショップ

日時：11月13日（木）、14日（金）9時30分～16時

会場：レセプションホール 参加費：登録制・無料

内容：学生を対象に日本文化を体験いただくプログラム。今回は日本独自のホビー文化のひとつである「プラモデル」をご紹介します。実際にプラモデルの組み立てを体験しながら、その魅力に触れてみてください。

子ども・親子向け「プラモデルの体験会」

日時：11月15日（土）13時～14時、14時～15時、16時～17時

会場：教室2 参加費：予約制・無料

対象：6歳以上（7歳以下のお子様は大人の同伴が必要）

内容：日本で高い人気を誇るホビー「プラモデル」を実際に組み立てて楽しめるワークショップです。今回はガンダムに限らず、さまざまなキャラクターやノンキャラクターのキットをご用意。BANDAIならではの多彩なラインナップから、自分だけの一体を選んで体験できます。

近年は技術の進化により、接着剤や工具を使わず、パーツをはめ込むだけで組み立てられるキットが中心になっています。はじめての方でも安心してご参加いただけます。また、塗装やパーツの差し替えによるカスタマイズも可能で、自分だけのオリジナルモデルを作る楽しさも、プラモデルの大きな魅力のひとつです。集中力や創造力を養うきっかけにもなるかもしれません。ぜひこの機会に、プラモデルの奥深い魅力を体験してみてください！

手描き友禅彩色体験 (石川県金沢市)

日時：11月18日（火）13時～

会場：教室1 参加費：15€

内容：加賀友禅は、金沢を中心に発展した日本の伝統的な手描き友禅染めで、江戸時代中期に加賀藩御用絵師・宮崎友禪によって技法が確立されました。写実的な草花模様や繊細なぼかし、「加賀五彩」と呼ばれる落ち着いた色調が特徴です。

今回のワークショップでは、金沢で採取された桜を原料とする天然染料を使い、筆で色付けする手描き染体験を行います。自然由来の染料は環境に優しく、持続可能な染色文化の象徴でもあります。加賀友禅作家の指導のもと、伝統技法と自然の美しさを体感できる貴重な機会です。ぜひ、日本の美意識とサステナビリティの融合をご体験ください。

縁付金箔のうつし仕事実演 (石川県金沢市)

日時：11月18日（火）15時～

会場：教室1 参加費：予約制・無料

内容：金沢は、加賀百万石の城下町として栄え、今も伝統工芸と歴史的な街並みが残る文化都市です。日本の金箔生産のほぼ100%を占める「金箔の町」としても知られ、伝統技術で作られる「縁付金箔」は、2014年に国の選定保存技術に、2020年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。全体の約20%を占める縁付金箔は、柔らかく上品な輝きが特徴で、文化財の修復や工芸品に欠かせない素材です。今回の実演では、金箔製造の最終工程「うつし仕事」をご覧いただけます。鹿皮を張った革盤に箔を竹箒で移し、竹製の枠で裁断し、三稜製の「箔合紙」に一枚ずつ重ねていく繊細な作業を間近で体験いただけます。

江戸木目込みストラップ作成体験 (東京都)

日時：11月22日（土）13時、16時

会場：レセプションホール 参加費：20€

内容：木目込み人形は、約290年前の江戸時代、京都最古の神社・上賀茂神社で誕生した伝統工芸です。粘土で原型を作り、桐の粉と糊で成形した型に溝を彫り、専用のヘラで布をはめ込んで仕上げます。自然素材を使うため長持ちし、粘土の原型により美しい曲線が表現されます。着物には西陣織が使われ、優しい表情が魅力です。今回のワークショップでは、この技法を用いて、好みの布で日本の伝統的な「まり」のストラップを制作します。完成品は当日お持ち帰りいただけます。「まり」には、家庭円満や困難を乗り越える願いが込められており、心温まる体験となることでしょう。

江戸押絵 丸型小箱製作体験 (東京都)

日時：11月22日（土）14時30分、17時30分

会場：レセプションホール 参加費：登録制・無料

内容：江戸押絵は、浮世絵に描かれた人物の衣装などを実際の布で再現し、日本画の技法を用いて制作される伝統工芸です。厚紙に綿をのせ、熱した鋳（こて）で布を包んでパーツを作り、組み上げて完成させます。この技術は1800年代中頃、日本橋から浅草にかけて発展し、歌舞伎の登場人物などをモチーフにした「押絵羽子板」として広まりました。特に浮世絵師・豊原国周の兄が羽子板屋を営んでいたことから、江戸文化の粋が凝縮された工芸として知られています。今回のワークショップでは、正絹の着物布を使った押絵を丸型の小箱に貼り付け、日本の伝統的な図案や絹の手触りを体験していただけます。完成品はそのままと持ち帰りいただけます。

いけばなアトリエ

日時：11月22日（土）～12月6日(土)

会場：教室2 参加費：75€ (全3回)

内容：いけばなの3流派、小原流、草月流、池坊流をご紹介します。実際に体験する講座です。必要な道具は全てこちらでご用意させていただきます。

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2025年11月10日～2026年1月20日) 続き

丹波焼のかけらで創る、金継ぎアクセサリー製作体験 (兵庫県丹波篠山市)

日時: 11月28日 (金)、29日 (土)、16時30分～

会場: レセプションルーム 参加費: 20€

内容: 丹波焼のかけらで、世界に一つだけのアクセサリーを作ってみませんか? 約800年の歴史を持つ手作りの陶器「丹波焼」のかけらに、日本の伝統技法「金継ぎ」を施して、オリジナルアクセサリーを制作するワークショップです。金継ぎは、割れた器を漆と金で修復し、傷を美として生かす技法。今回は肌に優しい合成漆を使うため、安心してご参加いただけます。乾燥も早く、当日中に作品をお持ち帰り可能です。特別な技術は不要で、講師が丁寧にサポートします。形や色の異なるかけらからお気に入りを選び、あなただけの一点を作りましょう。日本の美意識と職人技に触れる、創造的なひとときをお楽しみください。

組子細工体験 (長野県)

日時: 11月29日 (土)、14時、15時

会場: レセプションホール 参加費: 12€

対象: 6歳以上 (7歳以下のお子様は大人の同伴が必要)

内容: 組子細工は、日本の伝統的な木工技術で、釘や金具を使わずに木片を緻密に組み合わせ、幾何学模様を作る工芸です。木片は0.1ミリの誤差も許されない精度で加工され、熟練職人の手で丁寧に仕上げられます。この技術は飛鳥時代から伝わり、法隆寺の装飾にも用いられました。障子や欄間などの建築装飾として親しまれてきたほか、近年では照明やインテリアなど現代のデザインにも活用されています。また、組子のパーツを使えば、特別な道具がなくても机一つで簡単に体験が可能です。子どもから高齢の方まで楽しめる、日本の伝統工芸に触れる貴重な機会となるでしょう。

こども茶会

日時: 12月3日 (水) 15時～16時半 会場: 5階 参加費: 予約制無料

内容: 千宗室16代家元のご提唱を受け、茶道裏千家が8歳～16歳の子供・青少年を対象にした茶の湯イベントを今年も開催します。茶道のお作法やその秘密を知ることによって日本文化に対する理解も深めることができます。

篆刻

日時: 12月13日 (土) 13時～15時半、16時～18時半 会場: 教室2

参加費: 43€

内容: 篆刻は書道の一分野の、最も小さな芸術です。古来より「方寸の世界に宇宙を宿す」と言われるように、ほんの数センチの小さな空間の中に壮大な世界が広がります。今回のワークショップでは篆書、またはかな文字で、お名前またはご希望の字を彫ります。世界でひとつ、オリジナルの篆刻印は、作品や手紙にサインとして用いたり、本や持ち物に押ししたり、使い方はアイデア次第です。さらに印面を守るための「はかま」も作ります。

*以下についての詳細は、掲載サイトをご覧ください。

【教室】 <https://www.mcjp.fr/ja/agenda?subsections=cours>

囲碁教室 裏千家茶道-茶の湯 裏千家茶道教室 表千家茶道-茶の湯 表千家茶道教室
立礼 日本庭園教室 生花教室 書道教室 日本画教室 布ぞうりワークショップ
折り紙ワークショップ 日本舞踊教室

【日本語講座】

<http://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais>

【JF にほんご eラーニング みなと】

https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne_1

<パリ日本文化会館の催しに関するお問い合わせ>

火曜日～土曜日、11時～19時 問合せ先: TEL 01 44 37 95 01

所在地: 101 bis, quai Jacques Chirac, 75015 Paris

<http://www.mcjp.fr/>

*日本人会発行のAMICJカードの提示でMCJP会員価格の適用が受けられます。

補習校だより

今年は色々な事情があり、日本往復を5回、先週戻ったところでした。ロシア上空を飛行出来ない為、日本が本当に遠くなってしまいました。早く、戦争が終わって欲しいと願っております。また驚いた事に、嘗ての日本便は、日本人のお客様が溢れていたのですが、現在は、殆どのお客様が外国の方でした。時代は変わる、その事に対応できる様にしなければと考えさせられました。(遅いかなあ…)

飯田 隆一

ほんの少しデジタルデトックスしようかなと考えています。歩きスマホは危ないし、何を踏むかわからないので、歩く時は歩くことに集中して、前をよく見て姿勢に気を付けて歩こうと思います。きれいなものはスマホで撮りたいけど、まずは肉眼で味わう。空間全体に包まれて目の前の景色全体を堪能しようと思います。

廣重 幸美

私の家の小さなベランダ庭園! ? 紫陽花、長く咲いてた白い花が、枯れずに赤～くなって、「紫陽花もみじ」と呼んでいます。夏に1日最高で27個の花を咲かせた朝顔は、10月末まで小さな花を咲かせ続け、「健気アサガオ」と呼んでいます。たくさんの種が、来春を待っています。静かに季節の巡りを教えてくれる愛しい木々、花々、。ワイルド 令子

メトロの駅が延長されたので、新しい駅で降りる機会が増えました。それがきっかけで、産地直送のビオの店に行くようになりました。ロマネスクという野菜を初めて買いました。それと東欧のエビスリーを発見しました。素朴な味のアイスクリーム、最近のお気に入り、ブルガリアのパラゼリーです。小さな幸せが増えました。

浜田 喜代香

休み中、秋の京都を満喫しました。秋晴れの空のもと、庭園の紅葉は美しく輝き、何度もため息をつきました。霧雨の日の散策もしつとりとした感じで、非常に趣深かったです。金木犀の香りが時々ふわっと漂い、その度に、立ち止まって楽しみました。夜、ライトアップされたお寺の門前の荘厳な雰囲気も、心に沁みました。

西岡 緑

北海道出身なのに寒いのが苦手なわたしですが、わたしにとっての「寒い」は、吹雪が顔面に当たることです。ということで、パリで寒いと感じたことはありません。アルプスは寒かったです。最近うちの猫が毎晩布団の中に入って来て一緒に寝て、ぬくぬくしています。皆さん体調に気をつけて勉強、生活をしていきましょう。

畠山 友里



川柳仲間
大募集中!!

日本人会「川柳パリ会」 第四十一回選句

お題: 女性首相・ドローン・運動会

(秀逸) 走る子を携帯置いて直で見ても (とらこ)

最高得点トップ賞 とらこ

日本人会「川柳パリ会」では、新しい川柳仲間を募集しています。どのようにNET句会が開催されているのか、ご興味のある方は是非「通りすがりの野次馬」として、以下のリンクから既に開催された句会を覗いてみてください。

リンク: <https://ntgm.nolimbre.com/paris/login>

柳号: 通りすがり

PW: paris75116

日本人会「川柳パリ会」

新刊案内、 アトリエイベント情報は

@JunkuFr



営業時間 月～土 10時～19時

Librairie japonaise JUNKUDO

18 rue des Pyramides

75001 Paris France

Tel: 01 42 60 89 12

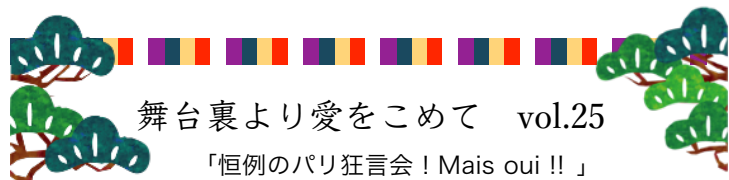
Mail: contact@junku.fr



『アウト老のすすめ』

みうらじゅん 著

文藝春秋



舞台裏より愛をこめて vol.25

「恒例のパリ狂言会！ Mais oui !!」



やって来た来た、やって来た！

今年もやりますParisでの恒例狂言会。言い出しっぺのモンマリさん、今年は貴方がお大役…Mais oui !! という訳で…

“という訳”のお大役がどういう訳かと申しますと…今回、頼みの綱の息子綱を頼れず、どどっと大役がモンマリの肩にのしかかっております(汗)テクニカル面から、翻訳、舞台設営、当日舞台進行に相手役と、いつもなら様々な形でサポートしてくれている息子が、日本でのお仕事とバッティングし、今回なんと彼抜きで会を催す運びと相成りましたのでございます。

パリの劇場楽屋で取組み合いにも発展しました過去を持つ親子関係から、お互いだいぶ大人になりまして(?)「なんだよ、お前がパリ公演に居なくて、俺どうすんのよ!」と突っ込まれる前に「お父さん今回は是非、小笠原由祠至芸オンステージ、タダシリサイタルのテイで存分にお客さまを魅了して下さい」と、おだての手腕があがりまして、でもって当のモンマリもまんざらではないご様子。とはいえ一人でひと公演お届けするのもどうなのでしょう、と会議の結果、仏人の若者役者さん2名を投入することでおさまりました。

という訳で、はい！今回初の試み、仏人若者君たちをお迎えし、モンマリはフランス語で！（の予定）共演致します。このコラムをお読みの、その心優しき貴方さま、もしやパリ、またはパリ近郊にお住まいで、この11月16日(日)お時間ありでいらっしゃいましたらば、是非ともモンマリ&若者君達の奮闘ぶりをご高覧賜りたくご来場下さいませ！チケットは日本人会会員さま価格にてご提供中（réduction code は AJF）！写真下のサイトアドレスより公演詳細をご覧下さいませ♪

さて、今回この場をお借りし“宣伝し倒し”させて頂いておりますが「人を肴に好き勝手な！」とちょっぴりモンマリのお叱りを受けそうでございますので、わたくしの今日この頃の諸々を…。

秋色の木々に街並み一層美しいパリをワイン片手に大満喫！からはほど遠く、いやはやチラシ持参での広報に向かいしております。知人店やオフィス、ご紹介頂いた飲食店等へチラシ設置のお願いに伺ったり、拙い仏語で大判ポスターを貼っていただきたいとお願いしたり、飛び込みで交渉したり、市内劇場の開場、終演目掛け扉付近で待機し、来場のお客さまへ“Bonsoir! Merci!”とダイレクトにチラシお渡しという、所謂ビラ配りをしております。受け取って下さる殆どのお客さまは“Merci!”と仰って下さいますが、先日は「なんのスペクタクル？日本の伝統??ふっ!」と鼻で笑われ、プイッと去られてしまうという、少し残念な出来事もございました。が、一方で「日本人会のコラム読んでいますよ!」と、ポスターを店内にお張り下さりつつ、美しい日本人マダムから嬉しいお言葉頂戴するという場面もございました。

公演開催直前まで広報で各所出向きますので、是非チラシ御入り用の際はお申し付け下さいませ！どこへでも馳せ参じます！また、ご家族さま、ご友人さまへのご案内も併せましてどうぞよろしくお願い申し上げます！

何とも宣伝てんこ盛りとなりましたことご容赦願いつつ、本日はこの辺で。

平和への祈りを込めて。

(公演詳細下記H.P.のリンクより！日本人会会員の方のréduction code は AJF)
<http://atelierogaparis.com>



モンマリ尽くしのパリ狂言会チラシ



フランス人物伝 <25>

～クロード・シャップ(発明家)～

坂本 昭二 (龍谷大学)

クロード・シャップ (Claude Chappe : 1763-1805) は、フランス北西部のサルト県のブリュロン (Brûlon) で5人兄弟の次男として生まれました。1783年にルーアンの神高校 (Lycée Pierre-Corneille) を卒業したのちに聖職者になりますが、フランス革命によって仕事を失って故郷のブリュロンに戻っています。また、彼の叔父であるジャン・シャップ・ドートロシュ (Jean Chappe d'Auteroche : 1722-1769) が天文学者であり、この叔父の著書を読んでいたことも影響してクロードは科学や工学に興味を持っていたようです。



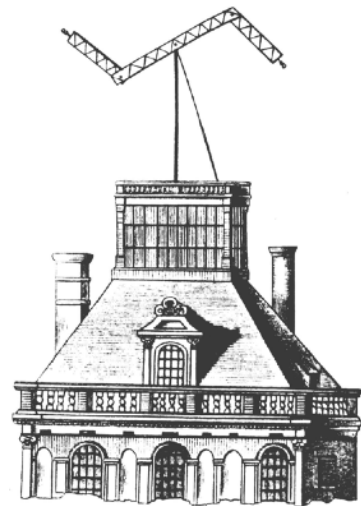
Claude Chappe

ところで当時のヨーロッパでは、情報の伝達は人や書簡を馬や鳩を使って送っていましたが、数百kmの距離になると数日を要していました。国周辺に敵の多かったフランス革命期には広大な国土を防衛するための高速な情報伝達手法が求められていました。

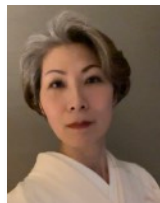
クロードは兄弟とともにこの問題に対して、腕木通信 (télégraphe) と呼ばれる視覚による新しい高速通信システムを考案します。この通信システムは高台や通信塔の上に設置された腕木 (アーム) を回転させ、その角度の組み合わせによって文字や数字をコード化し、10数km (望遠鏡で視認可能な距離) ごに設置された通信塔は視認した情報 (腕木の角度) を次の通信塔へとリレー形式で伝達していくことによって高速な情報伝達を実現するシステムでした。1794年にはパリ (国の中心) とリール (国境近くの最前線) との間の約200kmを結ぶ15の通信塔からなる通信路が完成し、数分から数時間 (天候 (視界) に左右される) での情報伝達が可能となりました。ちなみに、パリの通信塔はルーブル宮殿に設置されていました。同年、リールから50km程の距離にある国境の街のコンデ=シュール=レスコー (Condé-sur-l'Escaut) がオーストリア軍に占領された情報は発生から1時間も経たないうちにパリに届いています。

以後、ナポレオン時代にかけてこの通信網は急速に拡張され、パリを中心にフランス全土をカバーする通信網が形成されました。最盛期には約550の通信塔が設置され、総延長5000km以上に達し、アムステルダムやヴェネツィアにまで通信路が拡大されています。しかしながら、銅線ケーブルによる電気通信網やモース符号など新たな通信技術が開発されると、この通信システムは1855年の通信を最後に使われなくなりました。残念ながら、クロード・シャップは1805年に自殺したとされていますが、理由ははっきりしていません。ちなみに、パリ18区のシャップ通り (Rue Chappe) は彼の名が付けられた通りです。

(画像はwikipediaより引用)



パリのルーブル宮殿の上に設置されていた腕木通信塔



小笠原尚子 (おがさわらたかこ) プロフィール:

“やんちゃ狂言師の裏方古女房” 東京生まれ。神戸→名古屋→横浜→佐渡ヶ島育ち。故八世野村万蔵主宰“わざおぎ塾”にて学生時代に演劇を勉強中、狂言師小笠原匡と出逢い1996年に結婚、伝統芸能の世界に入る。その後、大阪生活を経て2014年よりパリ在住。

現在、パリで狂言普及活動の傍ら、自らは役者業を再開!

日本人会活動案内 -各種相談室・講座・活動-

各種相談（会員のみ）

*要予約（電話に限る）：01 53 76 17 58

法律相談（フランスの法律問題）（手配料 5ユーロ）

電話で予約を受け付けます。相談日はニュースレター「お知らせ」に掲載します。
30分間の対面、または電話での相談です。
相談内容は職業上の守秘義務により厳守されます。

滞在相談

日本人会にメールでお問い合わせください。contact@nihonjinkai.fr

健康相談

日本人会にメールでお問い合わせください。contact@nihonjinkai.fr

無料子ども相談室

臨床心理士、神経小児科医、保健師、助産師などの専門家がご相談にお答えいたします。
ご希望の方は「こども相談」という件名をつけてkodomo.fr@gmail.com 折口までメールください。

クラブ活動・各種講座

ふらんす俳句会

有季定型を基調に句作の楽しみを味わっています。

代表 樋山なをみ 連絡先 hiyamanaomi@gmail.com

子ども図書館

読み聞かせ 毎月第1および第3水曜日 11h30～13h00。

日本語児童図書の貸出・返却は随時。永年登録料：子供一人／2ユーロ

女声コーラス「みもざ」

コーラスの仲間達と美しいハーモニーを作り、楽しいひとときを過ごしませんか。
日本の歌、ミサ曲、フランス歌曲など。毎週火曜日13：30～16：00、Notre Dame de Compassion / Place du Général Koenig 75017 Paris (Porte Maillot) <https://mimosa-club-japon.jimdosite.com/> を参考に。
連絡TEL 06.33.89.56.59(石原) メール：mimosafrance@gmail.com

日本人会アーティストクラブ（NAC）

日本人会会員の美術系アーティストのクラブ。年会費16ユーロ。毎月第一火曜日の18h頃～20h頃、オペラ界隈のカフェLa Clef des Champs (49, rue des Petits Champs 75001 Paris、京子食品の斜め向かい)に於いて月例の親睦会を開きます。飲み物代は自己負担。NAC会員以外の方の参加も大歓迎です。問い合わせは日本人会まで。カフェLa Clef des Champsが閉まっているか満席の場合は、以下の2店を覗いてみて下さい。カフェLe Ventadour 46, rue des Petits Champs 75002 Paris/カフェDalayrac 2, rue Dalayrac 75002 Paris。

次回は、12月2日です。

マロニエの会

毎月第2火曜日15h～17h茶話会「La Clef des Champs」49 rue des Petits Champs 75001 Paris 第3日曜日&第4水曜日14h30～国際大学都市「日本館」で月例会。
ホーム訪問、講演会、新年会、希望祭参加、郊外農園バーベキュー大会、バス遠足、美術館・催し物見学、食事会と楽しい企画も盛り沢山。

会報を年3回送付。年会費 20ユーロ

連絡TEL：06-5170-4955（二口）06-2253-7418（六藤）

ソフトボール大会

春秋の年2大会あり。年齢・性別・国籍に関係なく、個人またはチームでの参加可。

連絡:実行委員長 代理 橋本 勝義 TEL: 06-14-73-37-31

キッズテニス

ARJ16 Tennis Club (Stade Henry de Montherlant : 32 Bd. Lannes 75016 Paris)

キッズテニス 小学生から高校生 毎週火曜日 金曜日（現地校のパカンスを除く）

1. 火曜日4クラス 17時と18時 小学校低学年から高学年生
2. 金曜日2クラス 17時と18時 小学校低学年から高学年生

ただいま、若干空きがあります。年齢とレベルによりクラスが決まりますので、メールにてご相談ください。

一般クラス 随時会員募集

初心者クラス、経験者クラスがあります。

火曜日 19時 / 木曜日 13時 / 金曜日 10時と11時 18時

個人、グループでのレッスンをお受けします。

お問い合わせ amicalejaponaistc@yahoo.fr

書道同好会

毎週木曜日 15h～17h 参加費：月20ユーロ

講師：林 信賢

TEL 代表: 06 22 53 74 18 国際大学都市「日本館」

くもん日本人会教室

水曜日14h00～17h00 土曜日13h00～17h00 詳細はTEL:06 09 66 94 39 (中村)

シャンソンDidier教室

日時：第2・第4土曜日（16時～18時）

場所：Pavillon de la Sirène

20, rue Dareau 75014 Paris M^oDenfert-Rochereau

詳細は下記にお問い合わせください。

ch.tanaka@orange.fr Tel. 06 0383 2674（田中）

今年のコンサートは12月14日(日) 午後6時から。

Auditorium Saint-Germain (Métro Mabillon)にて。

気功教室

毎週木曜18h30～19h45 全レベル参加歓迎

会場：天理文化センター 8-12 rue Bertin Poirée 75001 Paris

最寄駅 Châtelet 参加費：1時間 9ユーロ（日本人会会員割引あり）

気功の他に、太極拳、簡単に見つかる針、マッサージのツボ探し、健康自己管理の知識等も指導。講師/連絡先：ラン光旭（パリ第6大学医学学院利気功・太極拳講師）TEL：06-69-43-54-45 メール：yokogx@gmail.com

健康と美・ウォーキングレッスン

元パリミラノ東京コレクション/現役モデルによるウォーキング・写真のポージング・メイキャップ・Before & Afterなどニーズに合わせたプライベートレッスン（コース3回・180€/3h）プロ志望の方、カウンセリング、Zoomオンラインも可能（非会員：別途料金）

詳細はお問い合わせください。facustudio@gmail.com TEL:06-2296-0655

講師：北幸子（所属：Paris：Master Models, Tokyo：Oasis Styling）

子供のための習字教室

土曜クラス：第2, 4土曜日 11h-12h 場所：日本人会 授業料：1回15ユーロ（日本人会会員料金）。入学随時受付。

お問い合わせ：六藤 06-22-53-74-18 kayoko94000@yahoo.co.jp

日本館茶の湯会（裏千家流）

於国際大学都市日本館

稽古日 金曜日（14時半～17時半） 月二回

土曜日（13時～16時半） 月二回

（特別企画）親子茶会和の学校

年会費 20ユーロ・稽古参加費 一般20ユーロ。

連絡先 nihonkan.cyanoyu@gmail.com

chakaimomoe@gmail.com_（親子茶会和の教室専用）

成人学習者向け日本語講座

*現在活動休止中

ヨガ教室 個人レッスンとオンラインレッスンに加えて、今春からグループレッスンを再開しました。 詳細はメールにてお問い合わせください。

日時：平日午後を中心に参加者のみなさまのご都合に合わせて

会場：パリ市内 対象者：全てのレベル 参加費：1時間30€から

講師：ラロッシュ・アメリ

問合わせ・申込み：info@vacances-amelie.com（日仏）

川柳パリ会

インターネット上の「NET句会夏雲システム」を利用して開催されるバーチャルな句会を中心にした活動です。川柳をネット上の句会に投句したり、他の会員の川柳を楽しんだり、優秀だと思ふ作品を選句して参加することが可能です。

連絡先：代表 石井 宏 parisici@yahoo.co.jp

※在仏日本人会法人会員名簿は、インターネット・サイトに掲載されています。

日本人会ホームページの次のリンクをご利用ください。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/about-nihonjinkai/houjin-kaiin/>

amicJ協賛店一覧はこちらのサイトを参照ください。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/members-service/amic-j-card/>

日本の企業と個人向けに企業、災害、賠償、
運輸、医療、その他保険のことなら
何でもランボーラボロスへどうぞご連絡下さい

91, rue Saint-Lazare 75009 PARIS
TEL.01.53.32.20.00 まで
FAX.01.42.85.04.65



Michel BRUNEAU
(ミッシェル・ブリュノー 会友)
当会フランス語講座講師
1978～98年日本に滞在
元上智大学講師

た農民たちとの間の不釣り合いな戦いでした。

E- 不釣り合いだったので最終的に、ヴァンデ派は共和軍に敗れました。

M- はい、ヴァンデ派は幾度かの勝利を重ねた後、ついにクレベール (Kléber) 率いる軍にショレ (Cholet) で敗れました。

E- パリの大通りと地下鉄駅に名を残したクレベールですか？

M- はい、クレベールはヴァンデ派の勇気とその指導者たちの勇敢さを認めていました。ナポレオンは彼らの勇敢さを称賛し、彼らを巨人だと言っていました。しかし、ショレでの敗北にもかかわらず、ヴァンデ派はサン＝フロランに5,000人の共和派捕虜を拘束しました。

ヴァンデ派はロワール川を渡ることを決意しましたが、捕虜をどう扱うべきだったのでしょうか？

ヴァンデ派は、負傷者、女性、子供に対して容赦ない共和派への復讐を望んでいました。その時、致命傷を負ったボンシャン将軍が捕虜の恩赦を命じました。「捕虜を恩赦せよ！ボンシャンの命令だ！」一般の人々は、自分たちにとって最も大切なものを守るために、死ぬまで戦う覚悟ができていました。

ヴァンデ派は、尊敬する、まさに死期が迫っていたボンシャンの命令にすぐに従いました。このエピソードは「ボンシャンの恩赦」として有名です。

E- このエピソードは間違いなく歴史に名を残していますね。

M- 残念ながら、いいえ、です。共和派の歴史では無視されています。隠蔽されたのです。

E- 瀕死のボンシャンの彫刻を制作したのは誰ですか？

M- 彫刻家はダヴィッド・ダンジェ (David d'Angers) **です。

E- これはルーブル美術館でマラーの死を描いた絵画を制作した有名な画家ダヴィッド***ですか？

M- いいえ、画家のダヴィッドと彫刻家のダヴィッド・ダンジェを混同してはいけません。

E- 画家のダヴィッドは共和制の支持者でしたが、彫刻家のダヴィッド・ダンジェは間違いなくヴァンデ派を称えたかったでしょう。

M- 実際、ダヴィッド・ダンジェも共和制の支持者でした。

E- なぜ彼はこの彫刻を制作したのですか？

M- 彼の父親がボンシャンによって救出された囚人の一人だったからです。

E- ボンシャンのこの行動は、偉大な勝利以上に称賛されるべきです！

M- 残念ながら、共和派はボンシャンの真似をしませんでした。彼らは容赦なく、捕虜、負傷者、女性、子供たちを虐殺し続けました。

■ シャルル・ド・ボンシャン (Charles de Bonchamps)

(1760年～1793年10月18日没) は、アメリカ独立戦争に参加し、インドでイギリスと戦いました。新しい思想を支持しながらも、革命の暴力には嫌悪感を抱き、サン＝フロラン＝ル＝ヴィエイユ近くの城に隠棲していました。農民たちは真の指導者を求め、彼を探し求めたのです。享年33歳。ヴァンデ派。

*ヴァンデ派 (Vendée/Vendéens) : フランス革命に反発して西部ヴァンデ地方で起きた、王党派・敬虔なカトリック農民らによる大規模な反乱勢力。

**ダヴィッド・ダンジェ (David d'Angers) : 1788～1856年。フランスの彫刻家。ルーブル美術館に展示作品多数。

***画家ダヴィッド (Jacques-Louis David) : 1748～1825年。フランスの新古典主義の画家。

日本の四季のレシピをフランスで

冬時間になり、寒い日々が続いています。お帰りなさい。今日も一日お疲れ様でした。
おいしいお味噌汁と、あたたかいごはん 食後においしいお菓子を用意しました。ゆっくり召し上がって下さい。

❖ 栗ご飯

この季節の定番、昆布だしで炊きました。大きい栗だったので、あらかじめ栗をゆでてから、途中でお鍋に入れて、ごはんを炊きました。そばの実を入れて炊いてもおいしいです。

❖ おいしいきのこのお味噌汁

昆布だし、きのこはお好みのものを入れてください。

❖ 茄子とピーマンのしんやき

ご高齢のみなさんに伺った、お味噌を使ったおかずの第1位、茄子とピーマンを胡麻油で炒め、みりん、醤油少々、お味噌で味付けます。茄子が食べたいとお話ししていた読者の方のリクエストです。

❖ 豆腐のきのこあんかけ

お好きなきのこを、だし、しょうゆ、しょうがを入れて煮ます。片栗粉でとろみをつけ、焼いた豆腐にかけてどうぞ。みじん切りにしたネギを添えます。

❖ 秋の蕎麦サラダ

ゆでた蕎麦に、蒸したブロッコリー、人参、きのこ、アルファルファ、くるみを入れて混ぜ、胡麻油、しょうゆでどうぞ。お好みで胡桃油でも。娘の好きな一品で、入れる具を提案してくれました。

❖ 柿といちじくのと和え

豆腐をみりん、砂糖を加えなめらかにし、柿といちじくと和えます。絹ごし豆腐があれば、なめらかに仕上がります。

❖ 玉ねぎときくらげの酢物

11月に入りますと、秋が深まり冬の到来、寒さも厳しくなってきます。旬の食べ物はからだをあたためてくれます。今夜も、ゆっくりおやすみください。

❖ 里奈のおすすめデザート ❖

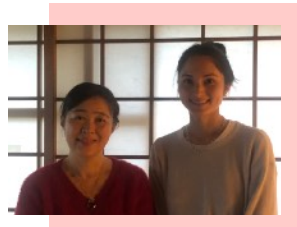
ホホワイト味噌ムース

先月、母と地元にある味噌屋さんへ行きました。五代目の息子さんは、百年以上続く糀屋さんの技と誇りを頑張って受け継がれています。今日はそのおいしい白味噌と黒味噌を使ったデザートのレシピです。

ムースは絹ごし豆腐とホホワイトチョコレートをミキサーにかけて、最後に白味噌を少し加えます。キャラメルは、黒糖とビーガンバターで作り、黒味噌を隠し味に。ビーガンなので、体にも優しい添加物のないお菓子です。

里奈のサラダ

庭のいちじくと、森でとれたハーブのサラダです。アボガドソースと、育てたアルファルファを添え、ごまだれで頂きます。お皿は自分で作りました。



倉田 節子・フィエベ 里奈

インスタグラム: @lina_fievet

ウェブサイト: linafievet.com

著書『LA TRADITION DU VEGETAL (éditions la plage)』の購入は一般書店及びeBookで
<https://www.laplage.fr/produit/386/9782383380443/japon>



終(つい)のデザインのススメ

己の最後を決めるための 日本における相続・遺言の基礎知識 (69) (日仏間も視野に入れて)

戸籍のはなし その4

前回、前々回は近時の戸籍にまつわる改正の話（氏名のフリガナや子どもの名前の制限）でしたが、戸籍そのものの話に戻ります。

◆現在の戸籍と旧法時代の戸籍のしくみと違い

現在の戸籍は、横書きで基本は夫婦と子どもで構成されています。昭和22年5月3日新憲法制定後の戸籍は、戸籍の構成(編成)の基準が、日本人同士の婚姻であれば、1組の夫婦と子供までの2世代しか記載できないとされました。家父長制時代の「家」単位の戸籍から「夫婦（又は親）と子ども」単位の戸籍となり、少ない人数の戸籍となりました。夫婦+子どもの組合せが基本ですが、婚姻せず子をもうけた場合、親の戸籍から離脱し新たな戸籍が作られ、そこに母又は父となった親と子が記載され新たな戸籍が誕生します。昭和の時代の戸籍は縦書きですが、平成6年（1994年）の戸籍事務のコンピュータ化により、順次、各役所で横書きワープロ打ちに変更（改製）され、今に至っています。

これに対し、旧法（昭和22年以前）時代の戸籍は、戸主からみて孫、甥姪（兄弟の子）や甥姪の配偶者やその子に至るまで親族多数が記載された大所帯の戸籍が一般的でした。

◆外国人と結婚した場合の戸籍

近年、国際結婚も増加し、外国人と婚姻した日本人がその届出をすると（海外の領事館からでも）、父母の戸籍から独立して（除籍され）、日本人が筆頭者となる新戸籍が編成されます。外国籍の配偶者は、いわゆる「戸籍に入る」わけではなく（別枠は設けられないという意味）、筆頭者の日本人の戸籍の記載欄に外国人配偶者の氏名・国籍・生年月日等が記載されます。あくまでも、日本人が外国人と結婚したことの婚姻の事実が公証され、戸籍では外国籍配偶者の詳細は記載事項以外わからない仕組みです。

◆戸籍の歴史を辿ってみる

旧法時代の戸籍は、「戸主」という呼び名で大家族の「長」を筆頭者として、その配偶者や子、戸主の父母や祖父母、孫などの直系親族のみならず、兄弟姉妹、甥姪、兄弟姉妹の配偶者など傍系親族の全員が1つの戸籍に入っているため「大家族」戸籍が多いです。

戸主の変更は家督相続を主原因（多くは長男に承継）として新戸籍が作られることが多かったようです。戸籍の中のメンバーが婚姻し子をもうけても戸主が変わらず家しない限りは同じ戸籍に追加されメンバーの人数がどんどん増加する仕組みでした。このような仕組みのため、家督相続等で戸主が父から長男に変更されても、従前の戸籍に記載されていた一族郎党は、戸主との関係性の記載が変わるだけで、ほぼそのままそっくり転記され大家族戸籍は継続です。新法時代の戸籍は、旧法時代のものに比べて感覚的にあっさりしているな～と感じる一方、旧法時代の戸籍は、本当に家族の歴史と広がり凝縮されている！と感じます。

1952年以降（現在）、戸籍と住民票が別になり引越して住所が変わると通常は住民票を変更するだけですが、それ以前は、引越しのたびに戸籍を転籍した人も多く、明治・大正生まれや昭和1桁生まれの被相続人（故人）の戸籍搜索となると、住まいを転々、転籍を繰り返した方の関係戸籍類（除籍等）が10通を超えることも珍しくありません。

◆旧法時代、明治以降の戸籍の種類

旧法時代の戸籍は、戸籍法の改正にともない作製された年代により、明治5年式（壬申戸籍）、明治19年式、明治31年式、大正4年式戸籍、と記載方法や内容が変遷しています。

明治5年式、別名「壬申戸籍」とは、明治4（1871）年の太政官布告第170号戸籍法により明治5年に編成された最初の全国的な戸籍で、明治5年の干支が壬申（みずのえさる）のため「壬申（じんしん）戸籍」と呼ばれています。現在、この戸籍は公式に取得できないことになっています。1968年に、この戸籍の完全閲覧禁止が決まり、法務局の地下倉庫に厳重に保管されているという話です。私自身も壬申戸籍の現物を見たことはありません。

壬申戸籍は、明治元年の「京都府戸籍仕法」や明治2年「東京府戸籍法」など、華族、士族、平民などの身分ごとの戸籍を基本的に全国统一の戸籍に記載されたとのこと。「家」制度以前の、身分ごとの戸籍を一元化したので、「差別的」と取られる表現があるとして閲覧が禁止となりました。この戸籍が就職における身元調査に悪用されたことも大きな要因のようです。（つづく）



司法書士 桑瀬 登起子（くわせ ときこ 会員）
Consulting Office 桑瀬
TEL: 03-3354-0445 / FAX: 03-5363-8971
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15-38-202



連載

フランス生活 養生訓



第28回 「日本と添加物、切っても切れない関係」

ご飯迷子になってしまったこの夏の日本帰国、添加物が入っていない食材を見つける方が難しく、本当にどんよりしてしまいました…。そして、なぜ日本がこんなにも添加物大国になってしまったか考えた結果、以下4つの原因が挙げられました。

1. 価格競争の成れの果て
2. 味の探求
3. 中食産業の活性化
4. 気候

1. 価格競争の成れの果て

商店街の肉屋さん、八百屋さん、魚屋さんが姿を消していき、多くの日本人がスーパーで買い物をする時代です。とはいえ、日本人ほどスーパーをハシゴする国民はいないのではないのでしょうか？特売チラシを見ては、スーパーを数軒ハシゴすることもザラ、日本の消費者はかなり価格にシビアです。また、かなり長い間デフレが続いていた日本ですから、メーカーは原材料費を抑え、安価で商品を提供できれば消費者は購入してくれません。前回比較した日本のハムは豚肉に大豆タンパクが加えられ、そのつなぎをするために添加物として加工でん粉が使われる、全ては価格を抑えるために豚肉を減らすことを目的とされているのです。

2. 味の探求

日本人の味覚は世界の中でも群を抜いて繊細であると言われています。現在では世界的に通用する五基本味の一つ「うま味」も、100年以上前に日本の大学教授によって出汁昆布から発見され、UMAMIという共通言語として世界で使われるほどです。うま味に慣れ親しんだ日本人の舌はレベルが高く、メーカーはこぞって味の研究を重ねています。とはいえ、この味の探究こそが、添加物である「アミノ酸調味料」等が多くの食品に使われている現状となってしまっているのです。

3. 中食産業の活性化

フランスに住む日本人で、日々のご飯作りに悩んでしまう方々なら、時に懐かしみ、羨しく思うであろう日本文化が「お惣菜」ではないでしょうか。お料理をしたくない時の選択肢、お惣菜が揃う日本は本当に夢のような国！ではあるのですが、その反面、このお惣菜こそが添加物の宝庫！特に保存料はお惣菜には欠かせない添加物となります。

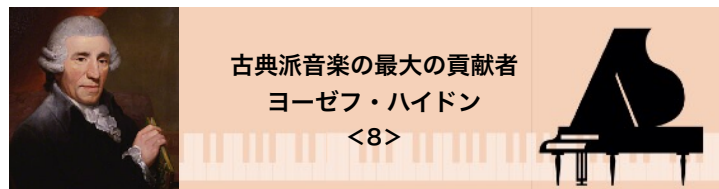
4. 気候

年々気温が上がっていく日本、もう耐えきれない程の夏の暑さです。ですが、夏のコンビニ弁当から食中毒が発生した…などのニュースをほぼ耳にしないのはなぜでしょうか？それは、日本の食品衛生基準が非常に厳しく、食中毒が発生しないように（つまり細菌が増えないように）製造されており、その中でも保存料や防腐剤は食中毒防止に重要な役割を担っているからなのです。たとえばパッケージに「保存料不使用」と謳われていても、実は代わりにpH調整剤、グリシン、酢酸ナトリウム、香辛料抽出物などの保存や腐敗を防ぐ添加物が使われているのです。

賢い消費者になるために私達が考えなければいけないことは、まずは「低価格を追求しすぎない」ことではないでしょうか。国産・国内製造の食品であれば、日本人である誰かが一生懸命食材を育て、加工しているわけです。時給などを考えれば、それなりに価格が高くなるのは当然ですし、むしろ今までの安すぎる価格が異常だったのかもしれない。見切り品の食材やネット注文をうまく活用するなど別の方法で価格を抑える工夫をすることもできます。また、できる限りパッケージの裏側の原材料表示を見て購入することも大切なことです。例えばハムでも店頭と並べてある商品を比較すると添加物の少ないものを見つけることができます。最後に、自分の中で明確な基準を持つことも大事なことです。オーガニックの外国産わかめとオーガニックではない国産のわかめだったらどちらを選びますか？今のあなたにとって優先したいことは何でしょうか？これらを考えつつ賢い消費者になっていくことが大切なのではないかなと考えています。



小椎尾 真衣（こじお まい）
Diététicienne-Nutritionniste /管理栄養士
Instagram
<https://www.instagram.com/diet.japonaise/>
（日々の食生活をゆるーり綴っています）



2026年4月25日(土曜日)に東京銀座王子ホールにてハイドン・プログラムで演奏会を致します。光栄なことにオーストリア大使館の後援とオーストリア文化フォーラム東京の一環に加えて頂けることになりました。

曲目は《変奏曲》へ短調Hob.XVII-6、《クラヴィア・ソナタ》変イ長調Hob.XVI-44、ハ短調Hob.XVI-20、そして「主題劣作への理解」に《クラヴィア・ソナタ》ト短調Hob.XVI-44から第1楽章を演奏いたします。

在仏日本人会会報でハイドン・シリーズを、2032年の「ハイドン生誕300年」に向けて書いてまいりました。

最初の一步、「古典派音楽の重要な作曲家ハイドンを再認識」に書きました。

音楽之友社出版の「作曲家◎人と作品シリーズ」池上健一郎著が素晴らしいので紹介から始まったのです。その本の帯封に「あなたはハイドンをどのくらい知っていますか？」で我々ピアニストでさえ、知っていたハイドンを具体的に充分ではなかったことに気づかされたのです。そのことを在仏日本人会会報で最初に書きました。

それから私はハイドンの曲を70年ぶりと言えるほど、練習し直しました。先ず気付いたことは「古典派音楽」とはいえ、鍵盤楽器の扱い方、語法がモーツァルトとベートーヴェンとは全く異なります。

断定するのは危険ですが、モーツァルトとベートーヴェンは世の中に出るときから鍵盤楽器奏者でしたが、ハイドンはウィーンの聖シュテファン大聖堂聖歌隊で受けた教育から声楽と合奏と指揮が中心だったと思われる。

長年、楽譜校訂の仕事を続けてきた経験で、作曲家が記譜するときのイメージがどこにあったかを想像するわけです。

バッハは幼少からオルガン操作の裏側に入り込んでいました。ショパンは器用な手つきでピアノの鍵盤を常識とは全く異なる指使いで、黒鍵と白鍵を往来するのを師匠ジグニーは眺めていました。モーツァルトは宮廷貴族たちの前で「布で覆った鍵盤」で神童ぶりを披露、ベートーヴェンは父親から虐待に近い音楽教育で泣き泣きピアノを練習したのです。

ハイドンは聖歌隊を退団してから、コールマルクト街のミヒャエラーハウスの屋根裏部屋で作曲した《ミサ・ブレヴィス》が現存する最初の作品と言われ、オペラ作曲家ニコラ・アントニオ・ボルボラに作曲を学びつつ、貴族宮廷で伴奏と室内合奏に加わっていました。

そこで重要なのは、音楽史上、全く最初の《弦楽四重奏曲》作曲依頼と初演で第2ヴァイオリン奏者を務めたのです。私は春秋社出版バルトーク集のため、ハンガリーのブダペストのバルトーク研究所にお世話になりました。研究所所長ラースロー・ショムファイ博士はバルトークばかりでなく、ハイドンにも造詣が深く、ハイドンが「古典派音楽」の基礎を作り上げたか伺いました。

ハイドンがエステルハージ侯爵に仕え、古典派音楽で最も重要な音楽専門語「主題劣作」を1760年から構想を練り始めたのです。ひとつの音楽テーマをいろいろと形を変え、壊しては作り直し、様々な変化に耐え得る音楽テーマにして発展させていく方法を考えました。

オーストリア大使館の後援を受けるので、プログラムにドイツ語での解説も加えます。

参考にしたドイツ語の文献に「ソナタ形式の創造と考案」においてハイドンの存在なしで、モーツァルトやベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、ブルックナーの作品は生まれなかった。」と書かれていました。

断定するのは危険だとお断りした理由は「現在のピアノ鍵盤の並び方」がハイドンとそれ以降のピアノ、同じ楽器とはいえ、「白鍵と黒鍵の幅の広さと位置」の違いを私は練習しながら「同じ楽想を転調させたとき」に感じます。

曲目に「主題劣作への理解」を加えたのは、その理由からです。



山崎 孝(やまざき たかし) 1937年生まれ。東京藝術大学卒業。ピアニスト

グローバル時代のコミュニケーション

～国や文化を超えて真に信頼関係を作るコミュニケーション～

【第51回】

みなさまこんにちは。

あっという間にもう11月ですね。日本はようやく秋めいて、東京ではもうコートが必要な日もあります。北海道はもう紅葉真っ盛りです。パリはいかがですか？町は色づいていますか？もう一つ、高市政権が誕生しました。人気は高く支持率は70%を超えているようです。日本初の女性総理大臣というだけでなく、経済でも期待されているようです。期待に応え、より良い日本をとり戻していただきたいと思います。

さて、このコラムでは、これまでの私の経験体験から、グローバル人材に必要な考え方やスキルのベースとなっているものについて、いろいろとお話しさせていただいています。

前回からは私の考えの原点ともいえる、心理学的なアプローチのお話をさせていただいています。これからお話しさせていただくのは「NLP 神経言語プログラム」についてです。

まずは「NLP 神経言語プログラム」について解説させていただきま。NLP(神経言語プログラミング)とは、人がどのように考え、感じ、そして行動しているのか、その心の仕組みを理解し、より良いコミュニケーションや望ましい行動を生み出すための心理技術です。名前を聞くと難しい印象がありますが、「Neuro=感覚や脳の働き」「Linguistic=言葉や非言語によるコミュニケーション」「Programming=思考や行動のパターンを望ましい方向へ整えること」という意味があり、これらを組み合わせたものがNLPです。

私たちの行動には、無意識のうちに繰り返される思考や感情のクセがあります。NLPは、そのクセに気づき、より自分らしく、人生が前向きに進むように書き換えていく「人間の取扱説明書」のような存在です。例えば、人間関係でのコミュニケーションをスムーズにしたり、不安や苦手意識を和らげたり、目標に向かう行動力を高めたりと、さまざまな場面で活用されています。

世界のトップアスリートや経営者、カウンセラーや教育者など、多くの成果を出す人たちが実践してきたNLPは、特別な人だけが使うものではありません。誰でも、自分の人生をより豊かにするために役立てることができる技術です。

NLP(神経言語プログラミング)は、1970年代にアメリカで誕生しました。創始者は心理学者のリチャード・バンドラーと言語学者のジョン・グリンダーの2人です。

彼らは「優れた成果を出している人には、必ず再現できる行動や思考のパターンがある」という考えのもと、当時活躍していた心理療法家たち(ミルトン・エリクソン、ヴァージニア・サティアなど)の言葉や行動を徹底的に研究しました。その分析によって、コミュニケーションや心の変化を効果的に起こすための技術を体系化したものがNLPです。

そして、NLPの発展に大きな役割を果たしたもう一人の人物が私の師匠であるクリスティーナ・ホール(Christina Hall)博士です。彼女はNLPを世界に広めた主要な開発者・教育者として知られています。(※創始者2名とは異なりますが、正式な共同開発者として認められています)

クリスティーナ・ホール博士は、言語と認知の関係性に着目し、NLPの言語モデルをさらに精密に整理し、トレーナー育成の標準化にも貢献しました。彼女の研究は「言葉が思考をつくり、思考が現実をつくる」というNLPの重要な考え方を強化し、多くのNLPトレーナー、実践者に影響を与え続けています。

私は、それまでに2年間、NLPの基礎教育を受け、さらに深くNLPを学びたいと思い、日本で受けられるNLP教育の最高峰とされているクリスティーナ・ホール博士の「NLPトレーナートレーニング」を受けることにしました。

2011年5月に私は、初めて彼女のトレーニングを受けました。第一印象は、小柄なとても人柄の良いご婦人、という印象でした。笑顔で「ようこそー!」となれない日本語で迎えてくださったことを今でも鮮明に覚えています。

このトレーニングは前後期で14日もある長いものなのですが、その後同じものを3回も受講することになりました。また個人的にも2人で沖縄旅行をしたりと、深い親交をさせていただいています。十分に理解できているかどうかはわかりませんが、彼女から学ばせていただいたNLPを皆さんにも伝えていきたいと思っています。これらの技法を使うと、自分の感情や状態を自ら整えることができます。次回からは実際のNLPのスキルについて解説していきたいと思います。(続く)

大山裕之 コンティニュー株式会社 代表取締役社長
社団法人コーチアプローチファシリテーター連盟 理事長
国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチ

場所と

人の出会い

[60]

児玉清が愛したパリの魅力

俳優の児玉清さん（以下敬称略）を初めて映像で見たのは、1970年、当時の民放最高視聴率をあげたといわれる水前寺清子主演のテレビ・ドラマ「ありがと」で、主人公の相手役である石坂浩二の兄役であった。その後、「パネルクイズ アタック25」の司会者としても、名声を博した。また私の故郷、群馬県に彼が戦時中学童疎開していたことや、無類の読書家で文筆家でもあり、著書も何冊か記している文化人で、飛行機搭乗時の保安検査ではペーパーバック一冊だけを機械の台に出すという、カッコいい逸話にも、親しみや憧れを感じていた。

以下、彼の著書「負けるのは美しく」に書かれている一節だ。『外国の都市で一番多く行ったところはどこ？と六歳の孫に質問され、（略）暫し考えたあと「一番沢山行ったのはフランスのパリだよ」と答えた。（略）僕の心の中には「パリだよ」といった瞬間に、なにか熱いものが、懐かしさと一緒にどっこみあげてきたのだ。』今回は本書でのエピソードを中心に、パリに魅了された俳優・児玉清について書きたい。

彼がパリに憧れたのは、クロード・オートン＝ララ監督の映画「肉体の悪魔」に夢中になった時からだという。主演のジェラルド・フィリップに憧れ、相手役のミシュリーヌ・プレール、この世でこれほど綺麗で魅力溢れる女性がいいたのか？と言う憧れぶりで、生まれて初めてプロマイドなる物を買ったそう。物語の背景であり舞台となっている、パリの素敵な街に、エッフェル塔にセーヌ河にぞっこん惚れ込んでしまった。パリというまだ見ぬ都市に特別な感情を抱き、それは数々のフランス映画によって益々強固なものになった。1966年32歳の夏、初めてパリの街に立った際、彼が驚いたのは、初めてのパリなのに、空港から街中に入ってきた時、もうすでに何度も来ている馴染みの街に久しぶりに帰って来たような、そんな錯覚を覚えるほど懐かしさを感じた事だった。

歩き、メトロに乗って、タクシーに乗っても、全くの初めての街なのに、全然違和感を感じずに懐かしさの中に自然体で居られるパリに狂喜する思いだった。暫くして、ふと気づいたのは、この街に住むフランス人の自然さが、ひとつの要因だということであった。旅行者に対して無関心というか、言うなれば、大人の国民性とも思える自信と誇りが、訪れる者を寛容に受け入れている感じなのだ。異国の人間を特別視する、または警戒する、刺すような目がないのだ。だから解放感に浸って、気楽に、自由に街を歩くことができる、と児玉は語る。この感覚は私自身が旅行者で来仏していた時も、住んでいる今でも同じように感じるもので、うんうん、とうなずいてしまった。

また、面白いエピソードもある。NHKの大河ドラマ「獅子の時代」（1980年）のロケの際に、江戸時代の町人姿でパリの街中を歩けば、誰もがびっくりして、彼の姿を見るであろうと思ったものの、ホテルのエレベーターに乗っても、すでに先客が居たが、彼の羽織袴・ちょん髷姿に何の反応もなかったということだ。街角でのロケ中にトイレに行きたくなり、ガソリンスタンドでトイレを借りた際も、全然驚かず、普通の態度で接してくれたそう。ちょん髷姿の日本人など、そこらへんに昔からうじゃうじゃいて見慣れてしまったかのように。パリは少しもたじろかず、驚かないのだ。心底、愉快になった瞬間、パリを我が家のように思ったそう。読書好きもあってか、彼は大学ではドイツ文学を専攻し、いずれは学者になりたかったそう。学生時代にのめり込んだ演劇仲間に後の仏文学者になった篠沢秀夫氏がいる。篠沢は元々は役者になりたかったそうだが、結果的には児玉が役者に、篠沢が学者になってしまったのは面白いものだ。

戦時中に学童疎開した四万温泉では疎開仲間からいじめられて、その孤独を紛らすために本を読みふけていたそう。何時だったか私がフランスから一時帰国した際に行った四万温泉の古い旅館「積善館」に児玉の写真が飾ってあった。NHKの朝のドラマ「ファイト」に出演していたので、児玉は役の上でもゆかりのある四万温泉に里帰りしたのであった。その写真を見て尚更彼に親しみを感じたものであった。

売れていない金欠時代に、車で旅の途中でガス欠となり、車を押して、やっとこさガソリンスタンドに辿り着いたものの肝心のお金がなく、急遽、持ち歩いてきた本を思い出し、古本屋さんへと駆けつけ、漸く6リットル分のガソリンを買い、途中何度もエンジンを止め滑走させながら東京に辿り着いたなんていうこともあった。それだけいつも本を、それも売れるだけの量の本を持ち歩いてたってということなのだろう。また、ある年の大晦日夜のTBSレコード大賞の司会進行役を務めたそうだが、翌日は大阪から初日の出の生番組に出る必要があった。当時の普通の交通手段ではどう考えても間に合わない。そこで考えたのが、東京駅発最終の新幹線で静岡まで行き、当時はまだ運行していた（先に東京駅を出発していた）寝台車に乗り換えて京都まで乗車したという神業のようなことをして乗り切ったそう。この技は鉄道旅行記を書いていた宮脇俊三氏がよくやっていた業だが、鉄道ファンでもない限り、普通の人なら思いつかない業であろう。「負けるのは美しく」の最後の解説を書いている池内紀氏は、『この俳優がスターにならなかった理由がよくわかる。たえず自分を見つめていた醒めた目がある。自己陶醉を許さない。そこから生じてくる他人への法外なやさしさとつつしみ。名前はダテではないのである。清浄なペンをもつ人であって、その文章はよく訓練された健全な審美眼につらぬかれている。』と語る。今回のフライトの際には、自分もペーパーバックを一冊だけをセキュリティの検査で台の上に乗せられるかな？



児玉清の愛したセーヌ河

フランス政府公認ガイド
星野 守弘

自選句集 158

(入会順)

あの人もかの人も居る星月夜
木の実落つ命眠るや果てるやら
セツ茸森ゆく祖父の杖の先
煩惱をあげてゐたり星月夜
我が庵の隙間をのぞく秋日差
初しぐれ歩の止まりたる赤提灯
寄添ひて眺むる空は星月夜
煮大根ほんはり口に広がりし
押し寄せる波の速さや秋の声
草の実の勝手に生えし謎めきし
パリに生き終の住処か星月夜
大根の苦き身に沁むパリ場末
滑走の銀翼の影秋の鳥
頭蓋の虚を群立つ秋の蝶
星月夜広き宇宙に我一人
箸進むだいこおろしと焼魚

美佐子 美佐子 茜 茜 佳久子 佳久子 容子 容子 春代 春代 なをみ なをみ 万里 万里 勝義 勝義



日本人会フランス語講座 2026年 1月～3月



月		火		水		木		金	
9:45-12:00 入門_2 1 Laurent	10:00-12:15 A1/A2 4 Florence	10:00-12:30 会話 B2+ 5 Muriel	9:45-12:00 A2 10 Laurent	11:00-12:00 発音マスター 18 Muriel	9:45-12:00 A2 14 Laurent	9:45-12:00 入門1 NEW! 16 Laurent	10:00-12:15 入門2 24 Florence	9:45-12:00 入門_4 30 Laurent	9:45-12:00 会話 A2+ 20 Muriel
12:30-14:45 A2 2 Florence	12:30-14:45 入門_4 34 Laurent	12:30-14:45 Conversation A2 9 Muriel	13:00-15:15 入門_2 11 Laurent					12:30-14:45 A1 35 Muriel	
17:15-18:45 DALF C1 6 Muriel			17:15-18:45 DALF B2 12 Muriel	17:15-18:45 DALF B1 15 Muriel		17:00-17:45 KIDS 29 Laurent	17:15-18:45 DALF A2 19 Muriel	18:00-18:45 KIDS 32 Laurent	
19:00-20:30 A1 7 Muriel		19:00-20:30 入門_2 28 Laurent	19:00-20:30 会話 B1/B1+ 33 Muriel	19:00-20:30 入門_1 NEW! 26 Laurent	19:00-20:30 入門_3 27 Muriel	19:00-20:30 A1/A2 21 Laurent			

オンライン	日本人会 教室
-------	------------

日本人会では、**2026年1月12日（月）**から始まるフランス語講座の生徒を募集いたします。お申し込み開始は**2025年11月17日（月）**です。

・これまでフランス語を勉強したことのない方向けのクラスから、DALF C1受験用の上級者クラスまでレベルに合わせてお選びいただけます。
・楽しい雰囲気の中で学習できる「教室クラス」と忙しい方などが移動せずに授業を受けられる「オンラインクラス」があります。（教室クラスは定員8名、オンラインクラスは定員6名。少人数での効果的学習が可能です。オンライン授業にはTEAMSを使用いたします。）

・日本人の弱点を知り、日本人の指導に精通した講師が揃っています。
・今期新設のクラス：はじめてフランス語を学習する方向けのクラスを新設いたしました。

■木曜9時45分～12時 入門_1（教室クラス） ■水曜19時～20時30分 入門_1（オンラインクラス）

*入門1のお試し受講は授業進行上の都合から第2回目までとさせていただきます。（その他は残り8回前まで）

・DALF対策講座は Muriel NAVARRO講師（DALF認定官）による試験対策講座です。一般の語学学校では不可能な、日本人が間違えやすい点を徹底指導。非常に高い合格率を誇ります。DALF/DALFのクラスはお試し受講であっても受講前にレベルテストを受けていただきます。

・日本人会のフランス語講座は18歳以上が対象です。/KIDSクラスは小学生以上が対象です。
・お一人2クラスまで体験受講（違うクラスを2つ。同じクラスを2回ということではありません）をしていただけます。/ 日本人会会員でない方も体験受講は可能です。

・途中入校も可能ですが（その場合、料金は回数割で15%割増）**残り授業数8回以降になりましたら無料体験および途中入校はできませんのでご了承ください。**

・オンラインクラスはフランスの地方、日本からの受講も可能です。
・講座の申し込み人数が3人に達しない場合はそのクラスは開講しない場合がございます。
・日本人会フランス語クラスの受講は日本人会会員に限りです。

フランス語レベル目安 は以下のリンクよりご覧ください。

https://zaifutsunihonjinkai.fr/wp-content/uploads/2022/06/2022_SEP_niveaux_francais.pdf

日本人の特徴を知り尽くした
講師陣による授業

Mme Florence MEHRVAR
Mme Muriel NAVARRO
M Laurent LOYER

料金表と授業のスケジュールは
下記リンクよりご覧ください。
<https://zaifutsunihonjinkai.fr/non-category/post-80705/>

問合せ・申込：
Tel. 01 53 76 17 58
coursfr.ajf@gmail.com

目次

第98回パリ・ソフトボール大会	1	日本人会活動案内	7
フランスで眼鏡やコンタクトレンズを購入する	2-3	フランス歴史散歩道	8
出版案内	3	日本の四季のレシピをフランスで	8
外務大臣賞授賞式	3	終（つい）のデザインのススメ	9
ディディエ・クラス シャンソンコンサート	3	フランス生活養生訓 第28回	9
パリ日本文化会館事業案内	4-5	ヨーゼフ・ハイドン <8>	10
補習校だより	5	グローバル時代のコミュニケーション	10
日本人会「川柳パリ会」	5	場所と人の出会い <60>	11
舞台裏より愛をこめて vol.25	6	ふらんす俳句会	11
フランス人物伝 <25>	6	日本人会フランス語講座	12

日本人会会報 Journal Japon

年6回発行：第50巻6号（通巻316号）

発行人 片川 喜代治
編集人 高橋 幸隆
レイアウト 杉山 清美
発行 在仏日本人会

Association des Japonais en France
(旧) Association amicale des ressortissants japonais en France
9, Av. Marceau 75116 Paris
TEL: 01-53-76-17-58
月～土 du lundi au samedi 9:30-12:30 / 13:30-17:30
<https://zaifutsunihonjinkai.fr/> contact.ajf@orange.fr
*サイト内「会報」「お知らせ」のバックナンバーを
閲覧する際のパスワード：heian2020
*本誌の無断転載を禁じます